



【会派 NEWS】2020(令和2)年 7月 6日 週刊 vol.51

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

「庁舎等建設は慎重な検討を」

「財源はコロナ対策に最優先で配分を」

市議会、賛成 14 反対9で決議を可決

小金井市議会は、6月23日の本会議において「新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設に関して、慎重な検討を求める決議」を、賛成 14 反対 9 で可決しました。

決議案は私が原案を起草し、「新型コロナウイルス感染症対策や、コロナ問題で困窮している市民や事業者への支援を最優先すべき」「新型コロナウイルス感染症が社会経済や市財政に与える影響を慎重に見極めるべき」との認識を共有している他会派と共同で提出しました。全国的にも、巨額の支出を伴う庁舎建設に慎重な自治体が出始めており、小金井市も当然慎重であるべきです。

可決された決議の全文は以下のとおりです。

新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設に関して、慎重な検討を求める決議

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界も我が国も甚大な人的、経済的被害を受けている。しかも、いまだ終息時期は見通せず、今秋以降の第二波、第三波の襲来も強く懸念されるところである。世界経済の急激な悪化は、国、東京都、そして本市の今後の財政運営にも深刻な影響を与えるものである。

そのような状況下、国内では、庁舎建設の発注を延期したり、建設計画そのものを凍結したりする事例も発生しているところである。新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態を踏まえ、慎重な対応をすることは、住民福祉の向上を最大の目的とする自治体として当然のことである。また、そもそも庁舎建設は市民の理解と納得に立脚して行われるべきものである。

本市においては、庁舎及び(仮称)福祉会館の建設は、基本設計を本年3月に終え、6月2日に実施設計を契約した旨が市長から報告された。

市長は当初「市民への新たな負担はない」と説明していた。しかし、総事業費は約107億円(起債(借金)の利息を含まない額)にまで膨張し、事業収支も明確にはなっていない。現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響を反映した市全体の財政計画すら示されていない。

よって、小金井市議会は、市長に対し、以下の事項を強く求めるものである。

- 1 新型コロナウイルス感染症の拡大という人類史に残る重大事件に直面した現在、市民の生命・健康・生活・営業の維持を最優先すべく、新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設に関しては、丁寧に進めること。
 - 2 現下の社会経済情勢を踏まえ、市の限りある財源は、新型コロナウイルス感染症対策及び市民や事業者の支援に最優先に配分すること。
 - 3 新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設の詳細な事業収支、市全体の財政計画を示し、市民及び議会の理解を得ること。
 - 4 新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設の抜本的なコストダウンが必要と判断される場合は、これまでの基礎的与条件の見直しを含め、あらゆる可能性を検討すること。
 - 5 重大な感染症の発生にも対応するという要素を加味して、設計の見直しの必要性を検討し、議会に示すこと。
- 以上、決議する。

令和2年6月23日

小金井市議会

決議案への賛否は以下のとおりでした。

○ 決議に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、共産党(板倉・水上・たゆ)、市民会議(斉藤)、市民カエル(片山)

✕ 決議に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、改革連合(篠原)、緑つながる(坂井)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

慰労品も必要である。③学生を支援するため駐輪場使用料の4月、5月分を補助することのだが、申請方法に懸念もある。補助希望者が漏れなく援助を受けられるようにすべきだ。

2件目の決議案は賛成18反対5で可決されました。採決態度は以下のとおりでした。

○ 決議に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)

✕ 決議に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、改革連合(篠原)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

市長提出のコロナ対策予算に対して

2件の決議を可決

6月1日から23日まで、小金井市議会は6月定例議会を開催しました。西岡市長から、新型コロナウイルス感染症対策で、複数の補正予算案が提出されました。市議会は、いずれも賛成多数で可決しました(私はいずれの補正予算案にも賛成)。一方、私は、市長提出の予算案にはいくつかの問題点があると考え、2件の決議案を起草しました。そして、他会派と共同で提出しました。

1件目の決議案は、一般会計補正予算(第2回)に対するもので、市長に対し、4つの問題点を指摘しました。①本来であれば、本年度の早い段階で市民や事業者を支援する補正予算を編成すべきだった。②事業者への事業継続支援給付金は、事業者にとって生命線になるものであり、給付の範囲や額について、市長は議会と事前調整を行うべきだった。③事業継続支援給付金は、他市でも例があるとおり、飲食店への支援や、売上減少の大きい事業者(自己所有物件での事業者含む)への傾斜配分など、すみやかに追加の支援策に着手すべきである。④図書館の図書消毒機を本館と貫井北分室に導入することのだが、全分室への配備も検討されたい。

1件目の決議案は全会一致で可決されました。

2件目の決議案は、一般会計補正予算(第4回)に対するもので、市長に対し、3つの問題点を指摘しました。①小金井宮地楽器ホール(市民交流センター)の各室の入場者数が制限される。大ホールは57%、小ホールは67~80%もの制限である。制限の割合に応じて利用料金の減免を図るべきである。②障がい者福祉事業所等職員と介護事業所職員に慰労品(5000円)を贈呈することの提案は適切であるが、医療従事者や保育従事者への

続報 多すぎる議員定数問題 削減求める請願書を不採択

6月23日、小金井市議会は、市民団体「議員定数削減の会」が提出した「小金井市議会の議員定数の削減を求める請願書」を、賛成10反対13で不採択としました。市民団体は今後署名運動を行い、9月議会に改めて請願書を提出する方針です。

請願書は、人口が同一水準の市に比べて小金井市議会の議員定数が2名ほど多いことを指摘。新型コロナウイルス感染症による経済衰退や市財政への影響に言及した上で、①議員定数を2名削減して22名とすること、②そのことによって生み出した財源は市民生活を支えるために活用すること、の2点を求める内容でした。

採決態度は以下のとおりでした。

○ 請願書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、改革連合(篠原)

✕ 請願書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。